

「マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査(26・27年卒対象)」を発表**約6割の大学1・2年生がキャリアの方向性を決めていない現状****37.2%が「18～20歳で成人したことをメリットに感じる」。責任感が芽生えることに前向きな意見も**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、「マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査（26・27年卒対象）」の結果を発表しました。本調査は、大学1、2年生の男女1,022名に、現時点の仕事や就職活動に関する考えを調査したもので、今回で7回目となります（前回調査：2023年1月実施）。

《TOPICS》

- ◆ 大学卒業後に自分が就きたい仕事・キャリアの方向性が「決まっていない」学生が約6割。方向性を定められない理由は「これだというものに出会えていないから」「やり方が分からないから」が上位に【図1、2、3】
- ◆ 大学1、2年生の74.2%が、将来「お金に対する不安」があると回答。将来について学びたいテーマも「お金について」が最多【図4、5、6】
- ◆ 成人したことについて、メリットの方が多いと思う学生が37.2%。さまざまな契約が自分でできることにメリットを感じる一方で、トラブルへの懸念も【図7、8】

【調査概要】

大学1・2年生に、卒業後に自分が就きたい仕事・キャリアの方向性について聞いたところ、「決まっていない（全く+どちらかといえど）」学生が59.5%で、前回調査の57.1%と比べて2.4ptの微増。理由は「これだというものに出会えていないから」が47.5%で最多、次いで「（方向性を定める）やり方が分からないから」で32.2%となった。また、キャリアの方向性が決まっていない学生は、決まっている学生と比較して、自分の特技や強み、適性について把握していない割合が18.5pt高く、「分からない（全く+どちらかという）」という回答が52.8%で半数を超えた。【図1、2、3】

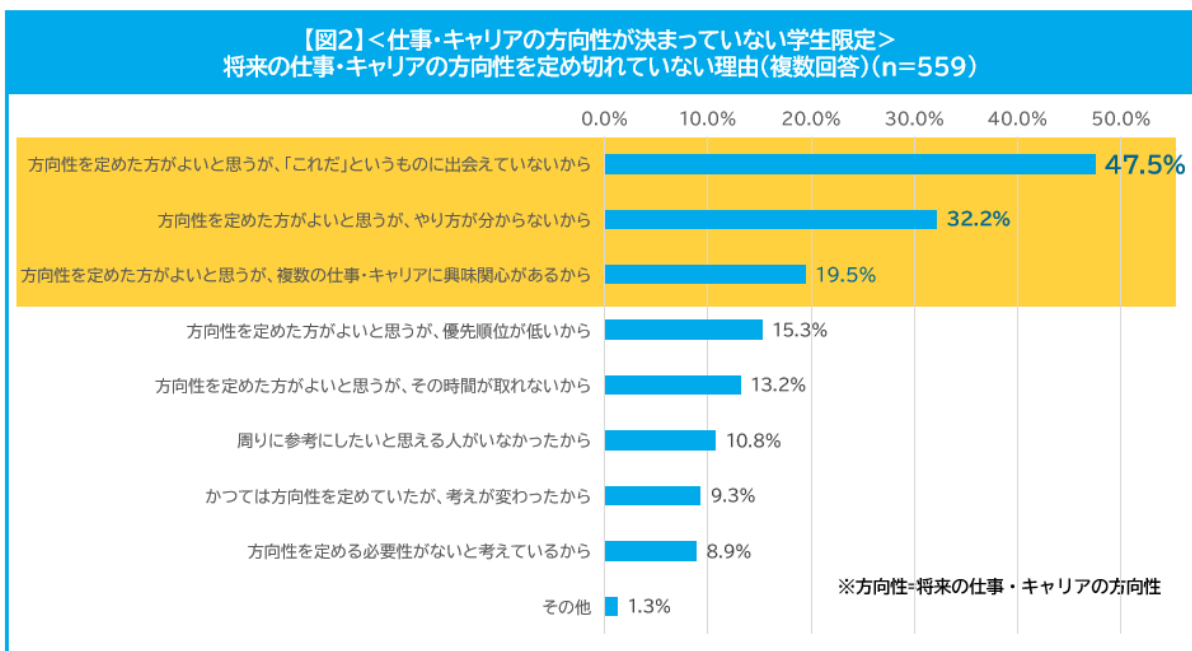
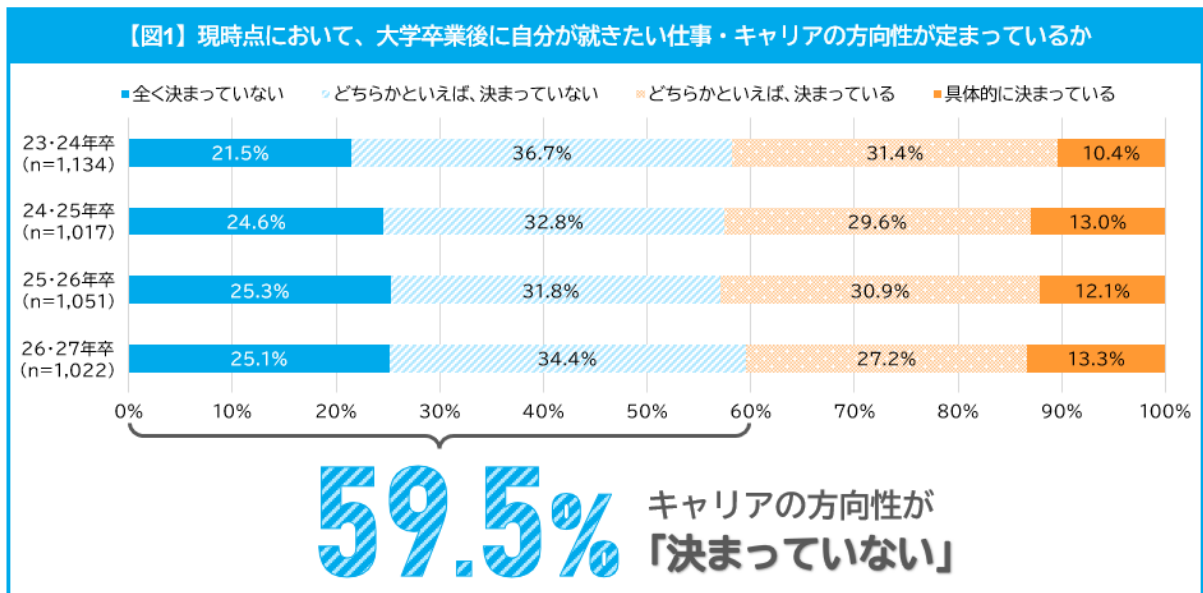
将来について不安を感じていることを複数回答で聞いたところ、74.2%が「お金に対する不安」と回答した。将来もっとも不安なことを一つ選んでもらった結果も「お金に対する不安（34.5%）」が最も多かった。不安を解消するために現在実施していることは「アルバイト（69.2%）」「ポイ活（64.4%）」「貯蓄（61.8%）」が上位となり、将来に関することで現在学んでみたいことも、「お金について（66.7%）」が最多となった。現在の大学1・2年生は将来に対して金銭的な不安が大きく、不安に対する備えとしてアルバイトやポイント活動など、学生のうちから取り組みやすいことを実践していることが分かる。【図4、5、6】

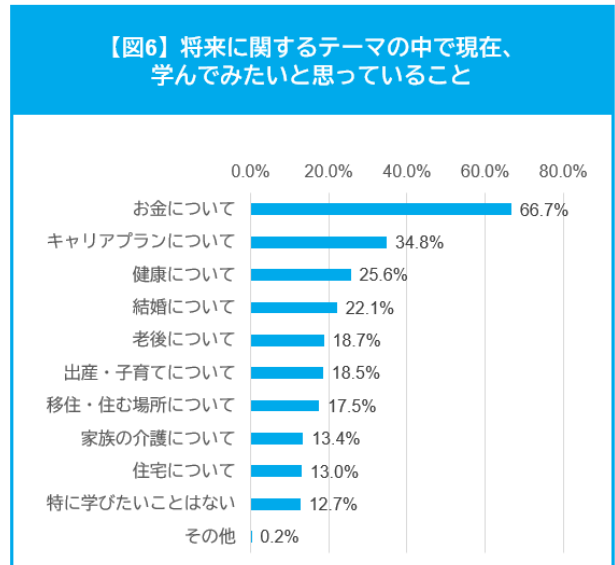
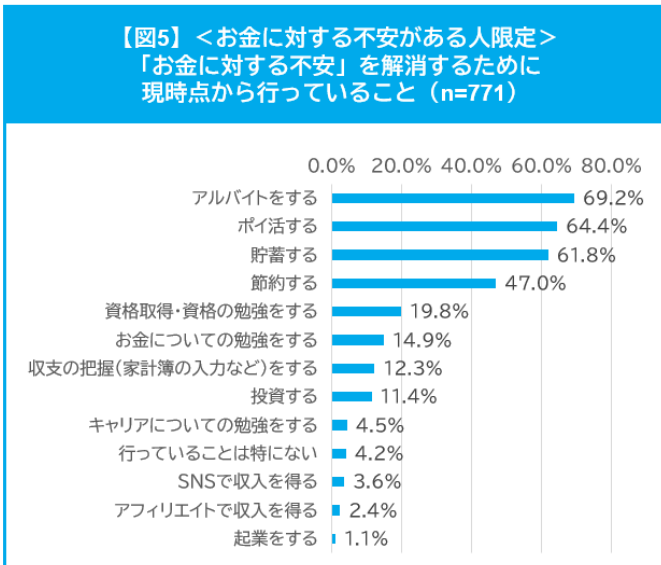
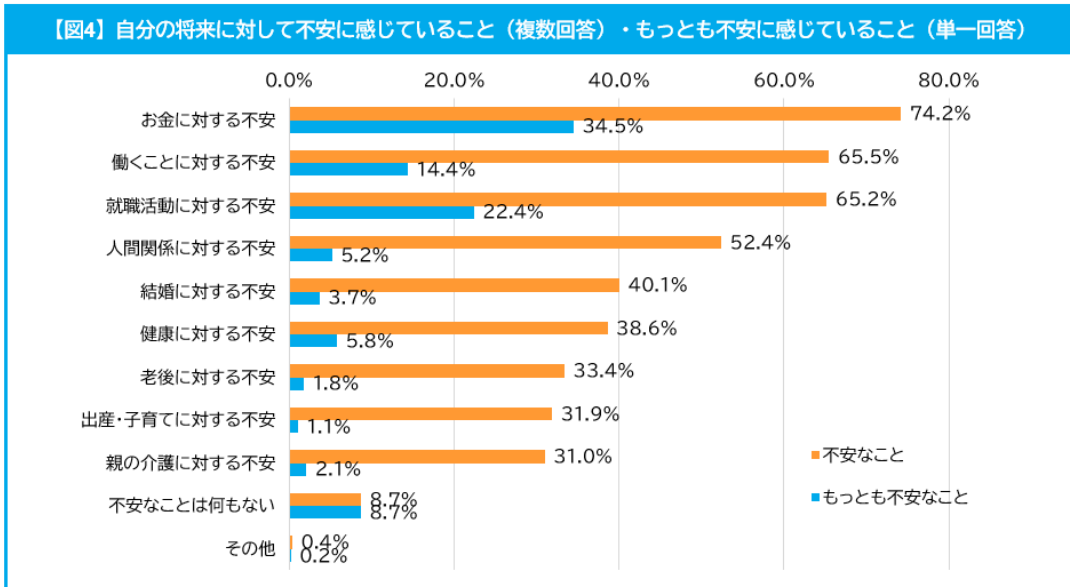
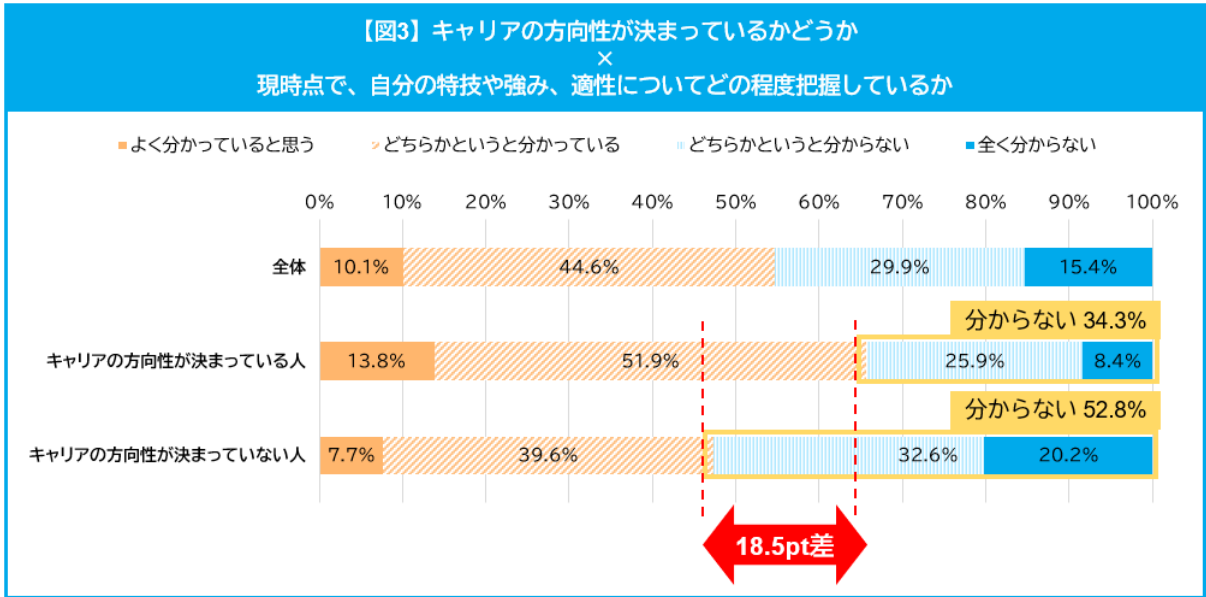
18～20歳の学生に、成人年齢の引き下げによって従来よりも早く成人になったことへの印象について聞いた。「メリットの方が多いと思う（どちらかというも含む）」と回答した学生は37.2%で、「デメリットの方が多いと思う（29.3%）」学生を上回った。メリットの方が多いと思う理由で、「一人暮らしをするときに制限がなくなった」「自分で契約できることがあり、責任感が伴うようになった」という回答があった一方で、デメリットの方が多いと思う理由として「大人としての責任を問われるということになるが教育活動が追い付いていないと思う」「自分で契約を結べるようになったことによるトラブルがある」などのコメントも見られた。自分でさまざまな契約ができるようになったことや、それに伴って責任感が芽生えるようになったことは前向きにとらえているものの、判断力やリテラシーが充分ではない状態で契約ができてしまうことへの懸念や、トラブルへの心配もあるようだ。【図7、8】

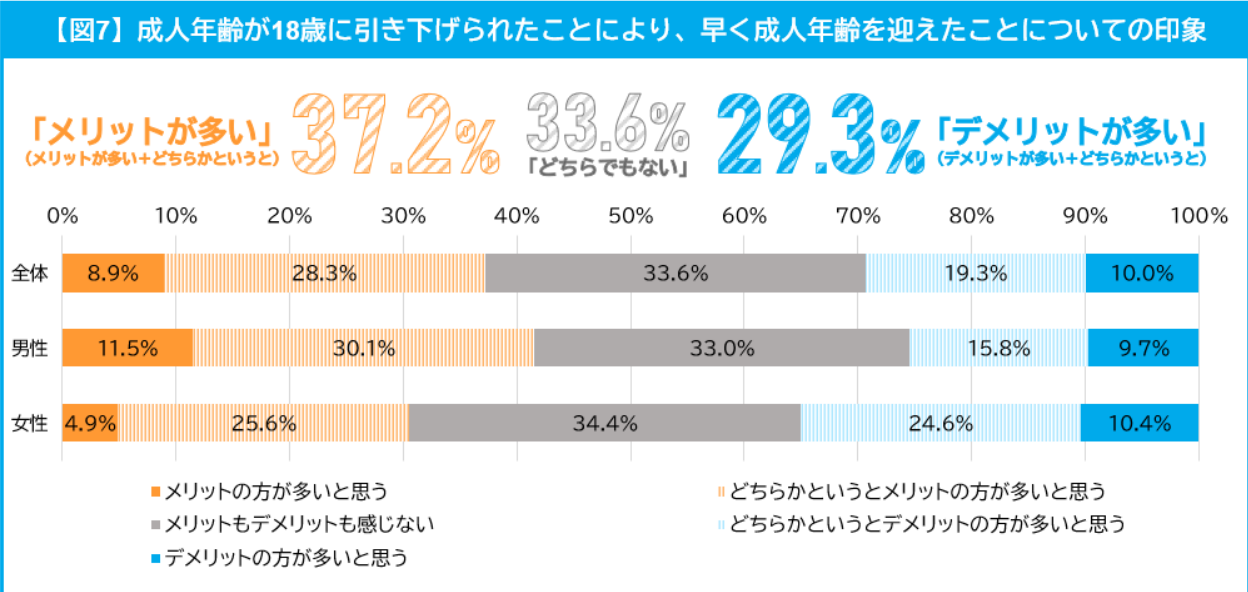
【調査担当者コメント】

25年卒を対象としたインターンシップから定義が改正されて、低学年からのキャリア教育の重要性も増えています。一方で、現時点でのキャリアの方向性については「決まっていない」という学生が微増していることが分かりました。ただ、理由を見ると、「方向性を定める必要がないと思っている」という割合はもっとも低く、「優先順位が低い」「時間が取れない」ということよりも「これだ」というものに出会えていない」「複数の仕事・キャリアに興味関心がある」という前向きな理由が上位になっています。方向性が見当がつかないのではなく、興味や知識が増えたからこそ方向性を絞り切れない状態なのであれば、視野を広げる段階としてはよい傾向だと思います。しかし「やり方が分からない」学生については注意が必要です。大学でのキャリアガイダンスへの参加など、将来についてどのように考えていけば良いか学ぶ機会を持つことが第一歩になると思います。

キャリアリサーチラボ 研究員 沖本 麻佑







【図8】早く成人年齢を迎えたことについて、どのような点にメリット/デメリットを感じたのか

メリットの方が多いと思う人

自分で決定した契約を行えるようになり、自身の行動に責任感が伴うようになった。自己責任で生きる覚悟、力を身につけて人生を歩むことは大事であるため、早くから経験できるようになる。また、早くから意識できるようになるこの制度は素晴らしい。しかし、考えて行動できない人にとっては不当な契約を結んでしまう危険性がある。18歳では未熟な場合もあり、十分な教育、知識が必要となるだろう。／理系男子

高校生から大人としての自覚をもち、将来について積極的に考えることができたため良いと感じた。／理系女子

大学で一人暮らしをするときに制限がほぼなくなったメリットがある。／文系男子

デメリットの方が多いと思う人

18歳成人になることにより、まだ高校出たて、もしくは在学中に大人としての責任を問われるということになり、まだそのことに対して教育活動が追いついていないと思うから／理系男子

自分の行動に自分で責任を取る年齢が下がってしまったのは危険が多いと思うから。自分の話ではないけれど、契約とかを結べるようになったことによるトラブルの話はよく聞かから。／文系男子

契約などを親権で止められなくなったので、リテラシー能力が今まで以上に求められるようになった点でデメリットがあると思うから。／文系男子

【調査概要】「マイナビ 大学生低学年のキャリア意識調査 (26・27年卒対象)」

- 調査期間／2023年12月15日(金)～2023年12月21日(木)
- 調査方法／18歳～20歳の大学1、2年生を対象にWEB調査を実施
(アンケートモニター提供元：GMOリサーチ株式会社)
- 有効回答数／1,022名 (文系男子193名 文系女子342名 理系男子156名 理系女子331名)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 沖本
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 松田
Email : koho@mynavi.jp